

公表 事業所における自己評価結果

事業所名 放課後デイサービス あゆむ2

公表日 R7年 月 日

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	4	0	学習室・静養室も利用しながら、限られた空間の中で、パーティションで区切ったり、時間で使い分けている。	成長と共に体格も大きくなる為中高生が多い日は手狭に感じることもある。
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	4	0	医療的ケア児や重心のお子さんが利用しており、看護師や理学療法士が常勤している。	利用状況によっては、人員が多い方が良いと感じる日もある。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	4	0	・建物の構造上玄関に段差があるが、スロープが設置してあることで車椅子利用者がスムーズに利用できるようになっている。 ・部屋の前に何の部屋か掲示したり、玄関には活動報告やお知らせを貼っている。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	0	室内は常に換気・随時手洗い・消毒を行っている。 状況によっては学習室や椅子を移動して広い空間を作ったり、活動によってはホール以外のスペースも活用している。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	4	0	感覚過敏があるお子さんやクールダウンが必要なお子さん、重心のお子さんの利用時等各部屋やスペースを個室で使用できるようになっている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	4	0	日々のミーティングを行う中で、うまくいかなかった部分を報告し振り返りを行っている。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	保護者からの意向や相談など把握する機会を設けている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	4	0	毎朝ミーティングを行い、情報共有・意見交換の場を設けている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	4		第三者による評価は行っていないが今後検討していく。
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	4	0	各自毎月2回のzoom研修を行い、専門性向上に努めている。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	4	0		現在支援プログラムの作成を検討している。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	4	0	アセスメントを行い、保護者のニーズや課題を確認し計画を作成している。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	4	0		児童発達支援管理責任者以外の支援に関わる職員の参加ができていないので今後参加をすすめていく。

適切な支援の提供	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	4	0	ファイルに閉じて共有できるようにしている。	・非常勤職員にも詳しい情報提供が必要。 ・記録担当以外のお子さんの計画を目にする機会が少ないので、意識して確認していく。
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	4	0	日々の行動観察は記録やチェックリストに残している。	標準化されたフォーマルなアセスメントの活用がほとんどできていない状況なので、今後うまく活用できるように努める。
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	4	0	「本人支援」「家族支援」について具体的な支援内容を設定している。	「移行支援」「地域支援・地域連携」の具体的な支援内容を示していく。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	0	・それぞれの職員の専門分野を活かしている。 ・活動内容をミーティングで報告しアドバイス等もらっている。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	4	0	毎月、季節ごとのイベントや新しい活動を取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	0	子どもたちのそれぞれの特性や身体状況に応じて活動を行い支援をしている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	0	・ミーティングを実施し、支援内容や活動の流れ、役割分担を行っている。 ・非常勤の職員が出勤したら、2回目のミーティングを行い再確認をしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	4	0	必要に応じて職員間で情報共有している。 言葉で伝えられない場合には、日々の記録用紙に記入している。 振り返りできなかった場合は、翌日のミーティングで報告している。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	4	0	・個別の日々の記録を毎日残している。 ・必要に応じて検証・改善をしている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	4	0	定期的に面談を行い、見直しが必要な場合は行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4	0		・地域交流の活動が少ないので、情報収集を行っていく。 ・子どもが主体的に参加できる活動を取り入れていく必要がある。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	4	0	自己選択ができる場を活動や余暇時間に取り入れて声かけ支援を行っている。	
	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	4	0	サービス提供時間を実施することが多い為、児童発達支援管理責任者が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	4	0	・理学療法士が医療機関へリハビリの見学へ参加し情報収集に努めている。	学校との連携会も行うよう努めているが、取り組めていない学校もあるので今後連携をとっていきたい。
28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	4	0	・学校の月行事予定を毎月頂いている。 ・送迎の調整や対応など随時連絡を行っている。		

関係機関や保護者との連携	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	0	就学前には訪問し、訪問できなかった場合は電話で情報共有に努めている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4	0		対象児がいる場合は情報提供を行っていく。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	0	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	4	0	学校の繰替休業にて1日利用になった利用の子どもを対象に児童館利用を行っている。	地域の子どもの活動をやる機会の情報収集を行う必要がある。
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	0	4		自立支援協議会に参加している職員からの報告を随時確認する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	4	0	送迎時間やファイルを活用して共通理解に努めている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	0	ペアレントのお知らせや研修のポスターを掲示し情報提供を行っている。	
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	4	0		
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	4	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	4	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	4	0	保護者からの相談があった場合は、随時面談を行い相談に応じている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機軸を設ける等の支援をしているか。	0	4	保護者研修会は年に1回開催している。	父母の会の活動やきょうだい同士で交流がもてる機会の取り組みを提案していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	4	0	苦情は今の所ないが、あった場合は迅速に対応をする。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	4	0	月ごとに活動の予定表を配布、年に2回活動報告を作成し日々の様子をお伝えしている。	
43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	4	0			

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	4	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に関わった事業運営を図っているか。	0	4		地域の方に事業所を理解してもらえるように広報を利用しアピールしていくことが必要である。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	0		どのようなマニュアルがあるのか再確認を早急に行う必要がある。
	47	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	0		
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	0		予防接種の把握にも努めていく。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	4	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	1	3		安全計画を再確認していく必要がある。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	0		緊急連絡カードを作成しているので、家族へ周知していく必要がある。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討しているか。	4	0		ヒヤリハットがあった場合は記録をとり、職員間で対応を検討し、再発防止に努めている。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	4	0		
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	0		現在身体拘束は行っていない。